

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 国産無垢の家

グループの名称 国産無垢の家

直近採択グループ番号 04-0533-0757

(グループ代表者)

代表者名 神谷 直秀 代表者印
代表者所属先 株式会社コシイプレザービング
代表者所在地 大阪府大阪市住之江区平林北2丁目9番145号
代表者電話番号 06-6685-1911

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社コシイプレザービング宮崎防腐工場
事務局担当者名 吉田 幸 印
事務局郵便番号 880-0912
事務局所在地 宮崎県宮崎市大字赤江1244番地1
事務局電話番号 0985-63-4188
事務局FAX 0985-63-4189
事務局担当者E-mail t.yoshidakoshii@nifty.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		25	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		25	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		25	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		25	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	本グループに参加している施工店の、請負契約または建売の着工が始まる予定日の順番で申請を行う。 ただし、地域材加算が可能な住宅または被災地で建設する住宅は、見込みが出た時点で優先的に申請する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					
	Ⅶ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産無垢の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州・沖縄
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 国産無垢の家	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0533-0757	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
① 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	日本の中でも温暖な地域である九州・沖縄は、木造住宅の木材の腐朽、白蟻被害が起こりやすいと考えられる。これまでの大震災で倒壊している木造住宅の9割が腐朽、虫害にあっていること、および築年数が数十年経過した木造住宅は床上1m以上、2階まで腐朽および虫害にあっていることが確認されている。これらのことから、温暖な地域でも安心して長期間にわたって住み続けられる住宅として、構造材に加圧注入処理による防蟻防蟻処理木材を用いた木造住宅を建設する。	◎
② 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	日本の伝統建築工法である軸組工法の採用を行う。宮崎県産(一部熊本県産)スギ・ヒノキグリーン材の利用を行う。	◎
③ 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外壁通気工法を採用して、木材自体から発生する水分や、生活環境で放出する水分を住宅から効率よく排出させる。床下からの侵入が多い白蟻、および水漏れ等が確認できるように、床下の侵入口を設けて点検可能とする。	◎
④ ①～③の背景	日本の住宅は欧米の先進国に比較して、ライフサイクルが短く、中古住宅の価値は極めて低い。特に温暖な九州地域では、腐朽、白蟻などの被害に構造材があっていることが多い。築年数が数十年経過した木造住宅は床上1m以上、2階まで腐朽および虫害にあっていることがグループの調査で確認されている。長期間安心して住み続けるためには、住宅の耐久性を追求する必要がある。また、日本の木材自給率は20%程度と低く、放置されている森林の荒廃も問題である。これらのことから国産無垢の家グループでは、森林資源の循環と九州・沖縄地域のエンドユーザーに長期間安心して住み続けられる家を提供することを目的として、宮崎県産(一部熊本県産)の無垢材に防蟻防蟻材の加圧注入処理を行い、長期耐久性を維持する木造住宅を開発した。あわせて、無垢材はグリーン材とし、AQ認証も取得している収縮抑制剤を加圧注入することにより、集成材やKD材では乾燥等にかかるエネルギーコストを削減しつつ、無垢材で問題となる寸法の狂いをKD材と同等レベルの品質を付与させることで、森林資源の有効利用を目指す。	○
⑤ その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材は必ずグループ内で取り決めた標準サイズに限定して使用する。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
④ 生産の合理化等に向けた事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
b	本グループに適用する仕様書を作成し、それに基づき実施する。適用範囲として下記とする。 ①防蟻防蟻剤と収縮抑制剤を加圧注入処理した木材を使用する。 ②構造は木造軸組構造とする。 ③基礎はベタ基礎(基礎外断熱工法は適用外)とする。 ④浴室は浴室ユニットとする。 ⑤耐力壁は筋交工法とする。もしくは耐力壁が筋交工法でない場合、耐力面材壁を調湿性能の高い非木質系耐力壁とする。 ⑥外壁通気工法とする。 ⑦床下に侵入可能で、各部屋に人通りがあり点検可能であること。地下室の場合には地下室と1階の間に基礎の人通りを設ける。	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産無垢の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州・沖縄
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 国産無垢の家	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0533-0757	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産無垢の家グループに参加している施工店の住宅は、独自の住宅点検システムを活用し、住宅履歴情報を一括で管理を行う。点検方法、お施主への報告様式も統一化しており、対象の工務店へ情報のフィードバックも実施する。点検のスケジュールを明確にするために、築10年から5年ごとに実施し、データベースから対象物件を抽出、お施主、施工店へ案内を行う。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: IT企業と提携して、住宅点検システムを独自で開発しながら運用する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ独自の住宅点検システムを活用し、本事業を活用する住宅履歴情報は一括で管理を行う。	◎
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループに参加している業者共通の点検項目、点検方法のマニュアルに基づき行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 白蟻予防工事については、築10年時に行うように施工業者、お施主に提案する。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅点検システムを活用し、住宅履歴情報を一括で管理を行う。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年2回、株式会社コシプレザービングが主催するプレザービング会にて、グループ参加業者全体で研修会に参加、課題などの議論の場とする。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産無垢の家研究会を設置し、耐久性をより向上する手法の検討、さらに省エネを実現する天井、壁、床、窓等の断熱工法の開発を行う。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工数十年が経過した一般木造住宅の耐久性に関する調査を行う。木造住宅の設計ルールの研究を行い、国産材をより有効的に利用できる手法(歩留向上、コスト削減等)を開発する。耐久性を付与しつつ、省エネを実現する天井、壁、床、窓等の断熱工法の開発を行う。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅点検システムを活用し、他工務店との連携を図ることで、お施主に対しての連絡や提案の放置をなくす。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店に対しては、初回施工時に施工技術講習を開催する。また、工務店からお施主に木造住宅の耐久性の重要性、国産無垢材の有効利用について適切に説明できるように、工務店に対する営業講習を開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 該当する部材に対しての、グループ共通の品質規格を定め、遵守する。グリーン材だが、収縮抑制処理材の技術(AQ認証取得)により、KD材並の品質規格とする。製材品については梱包ごとに採取検品を行う。月1回程度、在庫棚卸と品質確認を、株式会社コシプレザービング宮崎防腐工場、およびプレカット事業者内にて行う。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工完了後に、施工管理報告書の提出を施工業者より提出を求める。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産無垢の家グループ独自の生産管理システムにより、施工業者の見込み棟数および1棟当たりの平均材積から、必要な構造材・羽柄材の材積をわかりやすく、合わせて、各業者の在庫をリアルタイムで把握し、不足している寸法および材積のみ供給する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工数十年が経過した一般木造住宅の耐久性に関する調査を行うことで、耐久性向上に向けて必要な要素を見つける。木造住宅の設計ルールの研究を行い、無垢材をより有効的に利用できる手法(歩留向上、コスト削減等)を開発する。省エネを実現する天井、壁、床、窓等の断熱工法の開発を行う。特にパッシブ設計を取り入れ、太陽光などの自然エネルギーを有効活用できる設計を目指す。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産無垢の家グループ独自の生産管理システムを継続的に改修していき、生産管理の精度向上と生産効率の向上を進める。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 2	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 2	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 九州・沖縄地区の省エネ技術講習会の情報を取りまとめ、プレザービング会等、各工務店への講習会への参加を促す。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 防腐防蟻処理剤とあわせて、AQ認証も取得している収縮抑制剤を加工注入処理することにより、含水率が高い状況であってもKD材と同等の寸法精度を保持させ、人工乾燥をせずに部材の生産を行う。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネを実現する天井、壁、床、窓等の断熱工法の開発を行う。グリーン材で施工した木造住宅を想定して、水分拡散の長期的な変動を確認し、住環境における湿度への対策を確立する。グリーン材で施工した横架材のヤング係数、クリープ試験を行い、長期的な初期強度維持を研究する。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自	本グループ参加業者は、プレザービング会の会員または賛助会員とする。会則もプレザービング会会則を本グループ会則を適用する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 国産無垢の家	(地域型住宅供給対象地域) 九州・沖縄
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 国産無垢の家	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0533-0757	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>宮崎県産(一部熊本県産)のスギ材、ヒノキ材を、構造材(柱、土台、筋交)、羽柄材(間柱、垂木、胴縁等)に活用、利用促進する。また、梁桁などの横架材や、屋根材にも積極的に活用する。地域材は合法木材証明制度を活用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>原木会社(宮崎県産、一部熊本県産スギ・ヒノキ材の調達) →製材会社(グリーン材の製材) →株式会社コシプレザービング宮崎防腐工場(加圧注入処理・天然乾燥・製品在庫保管) →プレカット業者(製品在庫保管・プレカット) →施工業者(施工) の手順で実施する。地域材は、合法木材事業者認定会社にて製材された木材を供給する。 供給量の調整は、製材～プレカット加工までの製材・製品在庫本数の管理、プレカット業者が行った木拾い表から出荷本数の管理を行い、必要な本数のみ流通させるようにする。</p>
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組み</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組み</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国産無垢の家グループ独自の生産管理システムにより、施工業者の見込み棟数および1棟当たりの平均材積から、必要な構造材・羽柄材の材積をわかりやすく、各業者の在庫をリアルタイムで把握し、不足している寸法および材積のみ供給する。</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材価格は木材市況の大きな変動がない限り、年間で極力一定価格での取引とする。これにより、施工店、エンドユーザーへの材料供給価格を一定価格にする。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各施工業者から2カ月先までの見込み棟数を毎月入手し、国産無垢の家グループ独自の生産管理システムに反映させ、必要な部材数量見込みを予測する。</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 真壁工法や表し材を取り入れる。収縮抑制無垢材本来の木目調をアピールするとともに、収縮抑制処理材で割れ等の外観変化も抑制することで、新壁工法や表し材を採用しやすくする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 宮崎県産スギ材、国産ヒノキ材を中心に国産無垢材を多用しデッキ・パーゴラ等の外構製品に対しても国産無垢材を活用することで、自然色豊かな景観を目指す。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 無垢材を利用し、収縮抑制処理材割れ等の外観変化も抑制できるため、本来の木目調をアピールできる設計を取り入れることができる。</p>
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	対象地域に該当しない。	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	原木、製材で、熊本県産材を取り入れる。熊本県内の施工業者を対象として、年数回本事業を対象としたセミナーを開催し、賛同する業者とも今年度から取り組みを行う。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 国産無垢の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州・沖縄
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 国産無垢の家	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0533-0757	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。